

仮想マシンサーバ(ESXi)の IP アドレス変更手順

対象バージョン: SSC3.6~SSC 3.14

概要

管理対象仮想マシンサーバ(ESXi)のIPアドレスを変更する場合、SigmaSystemCenterのコンポーネント(SystemProvisioning、SystemMonitor性能監視、Rescue VM)に影響があります。

また、vCenter Serverに仮想マシンサーバをIPアドレスで登録している場合、IPアドレスを変更する前に、いったんvCenter Serverから仮想マシンサーバの登録を削除する必要があります。

各コンポーネントへの影響

SigmaSystemCenterの各コンポーネントについて、以下の設定変更が必要です。

- SystemProvisioning
 - ESXi上の仮想マシン、およびテンプレートは、いったんすべてvCenter Server上から削除されます。
また、vCenter ServerにESXiを再登録したあとに、テンプレートをデータストアからインベントリへ再登録する必要があります。
そのため、IPアドレス変更手順のときは、収集が実行されないように、定期収集などはオフに設定してください。
 - NAS環境を利用している場合、ストレージ装置のexports設定を変更します。
 - スタンドアロン環境のESXiを利用している場合、サブシステムを編集します。
- SystemMonitor性能監視
 - SystemProvisioningの構成反映機能を利用している場合
SystemProvisioningでの作業後の構成反映のタイミングで最新のIPアドレス情報が設定されるため、新たな設定は必要ありません。
 - SystemProvisioningの構成反映機能を利用していない場合
以下の手順で、SystemMonitor性能監視の管理コンソールから手動でIPアドレスの変更を行ってください。
 1. SystemMonitor性能監視の管理コンソールを起動します。

2. ツリーペインから IP アドレスを変更する仮想マシンサーバを右クリックし、「マシン設定」画面を表示します。
3. [全般] タブの [IP アドレス] に新しい IP アドレスを設定し、[OK] をクリックします。

ヒント

SystemProvisioning の構成反映については、「SystemMonitor 性能監視ユーザーズガイド」の「2.6. SystemProvisioning の接続設定」を参照してください。

- **Rescue VM**

Rescue VM で管理サーバの管理を行っている場合、ESXi の IP アドレス変更時は、監視を停止し構成ファイルの編集を行う必要があります。

変更手順

仮想マシンサーバの IP アドレスの変更手順を記載します。

ESXi を SystemProvisioning、および vCenter Server にホスト名で登録している場合、手順 5.、7.、8.、9.は必要ありません。

また、スタンドアロン環境の ESXi の場合は、[vCenter Server での操作] は必要ありません。

1. [SystemProvisioning での操作]

IP アドレス変更時に、ネットワーク障害を検出しポリシーが動作する場合があるため、IP アドレスを変更する仮想マシンサーバを選択してメンテナンスマードをオンにします。

2. [SystemProvisioning での操作]

IP アドレス変更中に、仮想マシンが vCenter Server からすべて削除される場合もあるため、定期収集を無効にします。

定期収集とは、SigmaSystemCenter で定期的に連携製品の情報を収集する機能です。

定期収集を無効にするには、Web コンソールから [管理] – [環境設定] – [全般] タブで [情報収集を行う] チェックボックスをオフにして、[適用] をクリックします。

本設定を変更した場合は、SigmaSystemCenter のサービスである PVMService の再起動は必要ありません。

3. [Rescue VM での操作]

rescue-vm サービスを停止します。

ESXi のアクセス先を IP アドレスで登録している場合は、`¥etc¥rescue_vm¥config.json` ファイルに記載した ESXi の IP アドレスを変更します。

4. [SystemProvisioning での操作]

IP アドレス変更時に稼動しているマシンを再起動するため、仮想マシンサーバ上で起動している仮想マシンをシャットダウンするか、他の仮想マシンサーバに移動します。

5. [vCenter Server での操作]

vCenter Server で IP アドレスを変更する仮想マシンサーバを選択し、[Remove from Inventory] を実行して登録を削除します。

この際に、仮想マシンサーバに登録されている Full Clone 用のテンプレート名を記録しておいてください。共有データストア上にあるテンプレートは、他の仮想マシンサーバへ自動的に移行されますが、念のため記録することを推奨します。

6. [仮想マシンサーバでの操作]

仮想マシンサーバの IP アドレスを変更します。

VMware ESXi のコンソール画面から、IP アドレスを変更することができます。

7. [vCenter Server での操作]

仮想マシンサーバを vCenter Server に再登録します。

8. [vSphere Client での操作]

仮想マシンサーバに、手順 5.で記録しておいたテンプレートが vCenter Server にあるか確認し、存在しない場合は再登録します。

9. [SystemProvisioning での操作]

スタンドアロン環境の ESXi の場合は、サブシステムの編集で仮想マシンサーバの IP アドレスを変更します。

10. [SystemProvisioning での操作]

手順 4.でシャットダウンした仮想マシンを起動します。

仮想マシンを移動した場合は、仮想マシンサーバを元に戻します。

11. [Rescue VM での操作]

手順 3.で停止した rescue-vm サービスを起動します。

12. [SystemProvisioning での操作]

仮想マシンサーバが運用グループで稼動している場合は、ホスト設定の [ネットワーク] タブで設定している IP アドレスの設定を変更します。

13. [SystemMonitor 性能監視の管理コンソールでの操作]

「各コンポーネントへの影響」に従い、必要な場合は、SystemMonitor 性能監視の管理コンソールから、手動で監視対象マシンの IP アドレスの変更を行ってください。

14. [SystemProvisioning での操作]

NAS 環境をご利用 (NetApp ストレージ装置を SigmaSystemCenter の管理対象としている) の場合、ストレージ装置の exports 設定を変更し、SigmaSystemCenter Web コンソールからストレージ収集を行ってください。

15. [SystemProvisioning での操作]

手順 2.で定期収集を無効に設定した場合は、有効に戻します。

16. [SystemProvisioning での操作]

仮想マシンサーバのメンテナنسモードをオフに戻します。